

金子晴彦展

かねこ はるひこ

ガラスと鉱石のハーモニー



「海流」高さ×幅×奥行き
H83×W(2つ分)60×D15cm

★7月4日(月)～9日(土)ギャラ
リーGK(東
京都中央区銀
座6-7-16
第一岩月ビル
1階) ☎03-
3571-10
105 困無休
料無料

金子晴彦(1961年沖縄生まれ)は父・恭雨が生み出した「よろん焼き」の技術を受け継ぎ、99年に「石垣焼窯元」を創設、沖縄の海の色を思わせるガラスと油滴天目が施された焼物を制作している。粉末状の鉱石と透明なガラスを使用することにより、沖縄の海さながらのマリンブルーと漆黒の中に浮かぶ美しい油滴で仕上げられている。その作品は各国大使館などにも收藏され、石垣焼の名を国外にも高めている。銀座で4回目の開催となる今展は、食器、アクセサリー、抹茶茶碗、新作のアート作品など幅広く出品予定。